

科目名		授業形態		担当教員名	
基礎作業学実習Ⅱ		実習		石橋 保子・嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間（ 2 単位）		30 回		1 年次	後期
授業の目的・概要					
作業療法の臨床で用いられる幅広い作業の種目別技法を身につけるとともに、その作業を治療的に応用する視点を学ぶことを目的とする。具体的には革細工、機織り、かぎ針編み、マクラメを体験し、治療的応用を考える。					
授業の到達目標					
1. 各作業種目の全工程を実践し、作品を完成させることができる。 2. 作品の制作で使用する道具や材料の準備・後片付けが適切に行える。 3. 道具使用に伴うリスク管理について説明できる。 4. 作業の治療的応用の具体例を説明することができる。					
授業計画					
回	内容				
1	革細工（嘉納担当）		16	〃	
2	〃		17	かぎ針編み（石橋担当）	
3	〃		18	〃	
4	〃		19	〃	
5	〃		20	〃	
6	〃		21	マクラメ（嘉納担当）	
7	機織り（石橋担当）		22	〃	
8	〃		23	〃	
9	〃		24	〃	
10	〃		25	〃	
11	〃		26	〃	
12	〃		27	作業分析・治療的応用のグループ発表	
13	〃		28	〃	
14	〃		29	〃	
15	〃		30	〃	
成績の評価法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験					
レポート	50%	作業分析のレポート、治療的応用に関するレポート			
小テスト					
平常点	10%	授業への参加態度（道具・材料の準備や後片付けを含む）や出席状況で評価する。			
その他	40%	提出作品			
自由記載					
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
つくる・あそぶを治療にいかす作業活動実習マニュアル 第2版			監修 古川 宏		医歯薬出版
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
自由記載					
備考					
各作業種目の制作にあたり、準備・後片付け、リスク管理の徹底を求めます。					